

企画展「開け！もののけ宝箱～コワイもカワイイも?!三次&岡崎から妖怪大集結～」

会 期：令和8年8月1日（土）～10月12日（月祝）

※9月7日（月）は三河武士のやかた家康館で一部展示替えを行います。

会 場：三河武士のやかた家康館 企画展示室1・2 岡崎城2階

開催時間：9：00～17：00（入館は16：30まで）

主 催：岡崎市 岡崎城公園指定管理者 一般社団法人岡崎パブリックサービス

特別協力：湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）

展示目録

※前期：8月1日（土）～9月6日（日）・後期：9月8日（火）～10月12日（月祝）

No.	展示期間		資 料 名	時代	作者	備 考
	前期	後期				
1			ばちやば	平成13年（2001）		公益財団法人日本水泳連盟・個人蔵
2			人面墨書土器	奈良～南北朝時代		岡崎市美術博物館蔵
3			続日本紀	明暦3年（1657）		西尾市岩瀬文庫蔵
4			日本霊異記（日本国現報善悪霊異記）	正徳4年（1714）刊	景戒	西尾市岩瀬文庫蔵
5			百鬼夜行絵巻	江戸時代	青白斎春山	場面替え
6			百鬼夜行図下絵	江戸時代以降		
7			神農化物退治絵巻	江戸時代		場面替え
8			大江山絵巻 下巻	寛延元年（1784）	宅間悠山	場面替え
9			絵本百物語 第2巻	天保12年（1841）	桃山人 作/竹原春泉斎 画	頁替え
10			化物念代記（合巻）	文政2年（1819）	藍亭普米 作/歌川国丸 画	
11			おばけかるた	江戸時代以降		
12			画本西遊記 百鬼夜行ノ図	江戸時代	玉園	
13			楠正行奥庭にて平九郎狸退治之図	安政2年（1855）	歌川芳員	
14			茨木童子図絵馬	宝暦元年（1751）		
15			白澤図	江戸時代		
16			夔図	江戸時代		
17			河童霊神	明治時代		
18			河童図	江戸時代以降	文周 写	
19			カッパ膏薬ホーロー看板	昭和時代		
20			養立湯薬袋	明治時代以降		
21			水虎のミイラ（赤水虎）	昭和時代		
22			耳囊	江戸時代（後期）	根岸鎮衛	
23			人魚の瓦	江戸時代以降		
24			人形魚の図	江戸時代		
25			寫真 人魚の繪葉書	昭和時代		
26			烏天狗のミイラ（天のみそぎ・人のみそぎ）	江戸時代以降		
27			出羽国の予言する天狗	江戸時代		
28			亀女	江戸時代		後期はパネル展示
29			尾州の人面蛇	江戸時代		
30			豊年亀 悪病よけの守	江戸時代		
31			件像	江戸時代		
32			件獣之写真	慶応3年（1867）	さくら坊 歌川芳盛	後期はパネル展示

No.	展示期間		資 料 名	時代	作者	備 考
	前期	後期				
33			絵葉書 前八幡地獄ノ件	昭和時代		
34			幽霊図着物	江戸時代以降		
35			九尾の狐図刺子頭巾	江戸時代以降		
36			鬼図胴丸	江戸時代		
37			幽霊図鍔	江戸時代		
38			鵲図鍔	江戸時代		
39			釣り狐図小柄	江戸時代		
40			鬼図小柄 雷公の太鼓釣り	江戸時代		
41			鬼図笄 頼光と酒呑童子	江戸時代		
42			幽霊 根付	江戸時代		
43			酒呑童子図煙草入れ	江戸時代		
44			白蔵主 香合	江戸時代		
45			妖怪図瓶	江戸時代		
46			四谷怪談立版古	江戸時代		
47			おばけろうそく解説書	明治時代以降		
48			妖怪ポチ袋 おばけろうそく	明治時代以降		
49			おばけおどけ	大正元年（1912）		
50			幻灯用種ガラス	明治時代以降		
51			『東京パック』「妖怪号」（第七卷第二十六号）	明治44年（1911）	北沢楽天	
52			鬼図絵馬	昭和時代		
53			鍋島化け猫騒動（伝単）	昭和時代		
54			妖怪映画ポスター「東海道お化け道中」	昭和44年（1969）	大映株式会社	
55			お化大会カード	昭和時代		
56			お化けうつしえ大会	昭和時代		
57			紙芝居「ケ、ケケッケ」第5話	昭和時代	神港画劇協会	
58			『週刊少年マガジン』10巻41号（昭和43年10月6日号）	昭和43年（1968）	株式会社講談社	
59			スイトン	昭和時代	有限会社山陰物産	個人蔵
60			那須野ノ原九尾老狐討取図	江戸時代	歌川国久	
61			三国妖狐絵図 蘇妲己馭堂に被魅	弘化4年（1847）	歌川国芳	
62			絵本三国妖婦伝（上・中・下）	文化2年（1805）	高井蘭山 著/蹄斎北馬 画	中根家文書・当館蔵
63			龍城古伝記 抜萃	明治21年（1888）	中根忠易 写	中根家文書・当館蔵
64			和漢三才図会 巻45・46 龍蛇類	正徳5年（1715）刊	寺島良安	個人蔵
65			龍図	嘉永6年（1853）～大正14年（1925）	鷹部屋雲城	当館蔵
66			龍図	明治19年（1886）～没年不詳	岡田石嶺	当館蔵
67			神龍	江戸時代		
68			龍の頭蓋骨	江戸時代以降		
69			龍の尾	江戸時代以降		
70			鬼面（祖父面・祖母面・孫面）	昭和34年（1959）	岡崎善郎	瀧山寺蔵
71			鬼となった女	江戸時代		
72			新聞鬼女噺	明治9年（1876）	梅堂国政	
73			芳年漫画 渡辺綱と茨木童子	明治18年（1885）	月岡芳年	
74			百物語 こはだ小平二	江戸時代	葛飾北斎	
75			百物語 さらやしき	江戸時代	葛飾北斎	
76			妖怪ちりめん本	明治時代		

No.	展示期間		資 料 名	時代	作者	備 考
	前期	後期				
77			応挙之幽霊	明治15年(1882)	月岡芳年	後期はパネル展示
78			幽霊の片袖	嘉永5年(1852)以降		九品院蔵
79			片袖の由緒書	明治時代以降		九品院蔵
80			三河往生験記	明治18年(1885)		九品院蔵
81			天保雜記「本多上総介家来討捕候異獣之図」			家康館・岡崎城にて展示
82			岡崎記並古事實録	明治21年(1888)	中根忠易 写	当館蔵
83			異獣之図	江戸時代		
84			古猫の怪	文久元年(1861)	三代目歌川豊国	
85			昔語岡崎猫石妖怪	弘化4～嘉永5年(1847～52)	三代歌川豊国 画 佐野喜兵衛 版元	岡崎市美術博物館蔵
86			絵葉書 岡崎の化け猫	明治時代以降(明治38年～大正7年)		
87			夜興納札怪異(岡崎の猫)	明治時代以降		
88			化猫図(佐賀 鍋島の化け猫)	明治時代		
89			和漢奇談鑑(久留米 有馬の化け猫)	明治13年(1880)	月岡芳年	
90			唐土訓蒙図彙	江戸時代		
91			印度国 海漫竜	明治時代		
92			大坂城堀の奇獣	江戸時代		岡崎城にて展示
93			大坂城堀の奇獣	江戸時代		岡崎城にて展示
			稲生物怪録絵巻(堀田家本)上巻(複製)	昭和時代		回廊展示コーナー
①			土蜘蛛草紙絵巻	鎌倉時代	伝 土佐長隆筆	パネル展示 東京国立博物館蔵
②			大江山絵詞	南北朝時代		パネル展示 阪急文化財団逸翁美術館蔵
③			付喪神絵巻	江戸時代		パネル展示
④			人面草紙	江戸時代	斎藤月岑	パネル展示
⑤			昔ばなし舌切雀	元治元年(1864)	歌川芳盛(一光斎) 画 古賀屋勝五郎 版元	パネル展示
⑥			新版おどけばけ物つくし	江戸時代以降	長谷川小信	パネル展示
⑦			人魚見世物願料のこと	明治7年(1874)		パネル展示
⑧			滑稽ばけもの双六	明治29年(1896)	田口米作	パネル展示
⑨			東海道五十三次の内 岡崎駅の場 音羽家猫の怪	明治4年(1871)	豊原国周	パネル展示 安城市歴史博物館蔵

※1：記載のないものについてはすべて湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）の所蔵です。

※2：番号と展示順が一致しない場合がございます。

※3：都合により、展示品及び展示期間を変更する場合がございます。

三河武士のやから家康館